

# 進路ニュース

2016年4月12日  
第2号

進路指導部 広報係

## 「東京地区大学訪問」に54名が参加！

3月28日(月)・29日(火)1・2年生の希望者54名が参加し、東京地区大学訪問が行われました。

### 1日目

東京大学本郷キャンパスを訪問し、中央食堂での昼食からスタートした1日目。理系グループは工学系研究科電気系工学専攻准教授の関野正樹先生の研究室を訪問し、筋電センサを使ったラジコン操作の体験をしました。両腕にPCと接続されたインテリジェント通信シートを装着し、腕の筋肉の電位差を信号化して、無線でミニチュアショベルカーを操作する体験です。関野先生は電気・電子工学技術を医療に応用する研究を行っており、その一端を楽しく体験することができました。



東大・安田講堂をバックに全員で記念撮影！

文系グループは2コースに分かれ、文学部の秋山聡教授、高岸輝准教授による美術史学入門、鉄野昌弘教授による「和歌は、こう読める」と題した模擬講義をそれぞれ受けました。秋山先生には15～16世紀ドイツの画家デューラーの自画像の構図の特異性や、作品の中に自らを描く手法など、作品に込められた意図を読み解こうとする研究を紹介していただき、高岸先生には国宝「信貴山縁起絵巻」(模写)を実際にひもときながら、「静」の世界にいかにして「動」を表現しようとしているのかレクチャーしていただきました。鉄野先生のコースでは、変体仮名で書かれたテキストを読み解き、歴史的仮名遣いがきわめて限定的な時代のものであることを確認したり、日本語日本文学研究室に所蔵されている貴重な資料を見せていただきました。

理系・文系とも普段は入ることのできない研究室や実験室を見学し、東大の研究環境が非常に整っていることを実感しました。その後、夜には北高OBの東大生9人と懇談会を行い、和やかな雰囲気の中、受験勉強や東大での大学生活について話を聞きました。

### 2日目

気温19℃と、歩けば軽く汗ばむほどあたたかくなった2日目は、理系は東京工業大学・大岡山キャンパス、文系は一橋大学・国立キャンパスを訪問しました。

東工大では理工学研究科材料工学専攻教授の竹山雅夫先生の研究室を訪問し、電子顕微鏡の操作体験や、合金の作成実験などをしました。竹山先生は、飛行機のジェットエンジンや発電所など、過酷な高温下でも耐久性を保つことができる金属材料の研究を行っています。

一橋大学では、商学部研究科教授の松井剛先生を訪問し、マーケティングについて学びました。一橋大学は「ゼミの一橋」と言われ、ゼミ形式の学習を重視していることから、研究室の学生協力のもと、ゼミ形式で「マーケティングとは何か?」「大学で学ぶとはどういうことか?」を考えました。

竹山先生、松井先生とも北高OBであり、後輩である参加者たちに「将来、一緒に研究しよう!」と熱いエールを送っていただきました。

## 「あこがれが目標に変わった!」～参加生徒の感想から

### 訪問全体を通して

■自分は今まで進路が決まっていなかったけど、今回の大学訪問を通して、挑戦したいことが見つかり、そのために今何をやればいいのか、参考になる話もたくさん聞けたので、これから目標の実現のために頑張りたいと思った。■今まで大学といえば北大しか頭になかったが、大学にはそれぞれ特色があり、雰囲気もさまざまであることがわかった。今回見学した研究室の先生方や学生が、自分の大学や研究に誇りを持っているのが話を通して伝わってきて、とても魅力的だった。自分もそのような研究をしたい!■今の自分の状況に焦りと絶望ばかり感じていたけど、自分がこれからどうしたいかということ大切に、自分の目指す大学に合格できるように頑張ろう、と前向きな気持ちになれた。■研究室などを見る度にあこがれを抱き、やる気が起きました。■大学へのあこがれが目標が変わった。■実際に大学の雰囲気を肌で感じることで、今までよりも自分の生活や勉強に対する意識が高まった。自分の進路の可能性や幅が広がった気がする。■東大や東工大なんて絶対無理...と思っていたのですが、どちらの大学もとても魅力的だったので、あきらめずに挑戦したいと思いました。今まで以上に勉強を頑張る!■今まで感じたことのない刺激があり、ずっとワクワクしながら2日間を過ごすことができた。■実際に大学を見ることで自分の将来のイメージが明確になりました。自分の目で見た東京の景色や大学をこれからの自分の支えにして、日々頑張っていきたい。

### 東大訪問

腕に力を入れ、ミニショベルカーをラジコン操作しています(東大・関野研究室)



□生命医工学についての講義や体験を通して、工学と医学が全く関連性のないものではないというように、物事を多角的にとらえることの重要性を学んだ。□最も印象に残ったのは「最新医療技術は最新技術ではない」ということです。医療技術が実際の現場で使われるようになるには臨床実験などで短くても10年の歳月を経ていると知りました。今ある医療は長い研究の末にあることを実感しました。□やはり全国で最も予算の多い大学というだけあって、設備がとても充実していた。□規模の大きさに圧倒された。□高校での教科の勉強のすべてが、大学に入ってから研究につながっているの、たとえ理系だとしても国語や社会など文系科目も手を抜いてはいけないということがわかった。□研究室を見学させていただき、古文の書物のうち、活字になっているのは数十%にすぎないと知り驚いた。□実際に学生の話聞き、進学振り分け制度の良さがわかった。□東大生について、自分で勝手なイメージを作り上げていたが、東大生は勉強以外のことにも熱中して取り組んでいて、何でも積極的に楽しもうとしていることがわかった。

### 東工大訪問

◇設備が非常に充実しており、ここなら不自由なく研究ができると思った。◇金属は私たちのまわりに数多くあるのに、知らないことがたくさんでした。もともととても興味のある分野でしたが、今回の体験を通してもっと

実際のエンジンの部品などを見せていただきました(東工大・竹山研究室)



興味がわきました。東工大の他の研究にも興味がわいたので、自分で調べてみようと思います。◇理想を高く持ち、少しでも軽く、少しでも強い合金を作るために努力する研究員の姿に感動した。◇質問をすると、目を輝かせて教えてくれる東工大の学生の姿が印象的だった。◇金属だけでも100種類以上あるのに、そのそれぞれの特徴をふまえて効果を予測して合金を作るなんて想像を絶すると思った。「鉄は神様からの贈り物」という言葉が印象的だった。◇普段できない体験をさせてもらっただけでなく、材料の話や現在のエネルギー問題についての話もとても勉強になった。◇ここに入れたら自分の可能性を広げることができると感じた。◇今まで工学に全く興味がなかったが、今回の訪問で興味を持った。

### 一橋大訪問

「マーケティング=ありがとう+お金」。お客さんを満足させて利益を得るにはどうしたらいいかな？(一橋大・松井研究室)

●今まで意識していなかった、ものの売り方や買い方に関する知識を学ぶことができ、とても勉強になったし面白かった。ゼミとはどのようなものかという理解が深まった。  
●先生の投げかける問題が難しかったが、大学生がわかりやすく順序立てて教えてくれたので理解できた。大学生のすごさをあらためて感じた。  
●商業についての話を聞き、学ばば学ばだけ世界が変わって見えることを実感しました。大学の雰囲気もとても良かったです。  
●ゼミを体験できたのがとても良かった。ディスカッションではなかなか意見を述べられなかったのが、自分の言葉で自分の意見を伝えることがこれから必要になると感じた。  
●商学というものを初めて学んだので、とても新鮮だった。  
●ゼミを重視しているということなので、発言するのが苦手な自分も成長できる環境なのではないかと思った。学生さんがみんな楽しそうだったのも印象的だった。  
●「実際に大学を見たら絶対行きたくなるよ」と言われていたが、その意味がわかった気がする。



### 北高OB 東大生との懇談

東大生の先輩たちはみんな気さくな雰囲気です。質問しやすかったです。モチベーションもアップ!



▽勉強方法や苦手科目の克服など、聞きたかったことを丁寧に教えてくださったので、これから実践していきたいです。1年生の時から上位にいた人ばかりではないことが驚きだった。▽東大に行く人はみんな塾に行っていると思っていたが、全員行っていないことが驚きだった。▽努力次第で今後どんなことでもできると言われ、これからは楽しみになった。▽大学生活の様子を聞いて、憧れたし、やる気が出た。▽東大に入った人の生の声を対面して聞けたのでとても満足です。▽学力は最後まで伸ばすことができると言っていたので、くじけずに頑張ろうと思えた。▽運動系の部活動と勉強を両立しながら合格された方々の話は、共感できる部分も、参考になる部分も多くてとても良かったです。▽1時間の懇談時間も良かったが、夕食時に個人的な質問や、深いところまで聞くことができたのが良かった。▽東大生ときくととても遠いイメージがあったが、同じ高校の先輩としてとても身近に感じられ、今後の自分について考え直せる良い機会となった。どの先輩も努力を怠ることなく、目標に向かって頑張っていて、とても刺激になりました。▽東大に入る人は天才型の人たちだと思っていたが、努力に努力を重ねて頑張ってきた人たちだということがわかった。私も頑張ろうと思いました。▽皆さんフレンドリーで話しやすかった。期待以上にいろんなことを教えてくれ、ためになった。▽英語や古

文は何度も音読をすとか、休憩の後は一問一答型の問題から始めるなど、勉強のコツをたくさん教えてもらえてためになった。▽同じ部活で、一緒に勉強し、ともに東大に入った2人の方の話を聞き、友達の大切さがよくわかった。



文系参加者全員で記念撮影(一橋大・兼松講堂)

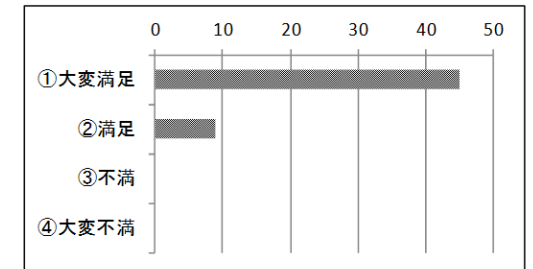


理系参加者全員で記念撮影(東工大・竹山先生を囲んで)

### 平成27年度(平成28年3月実施)東京地区大学訪問アンケート結果

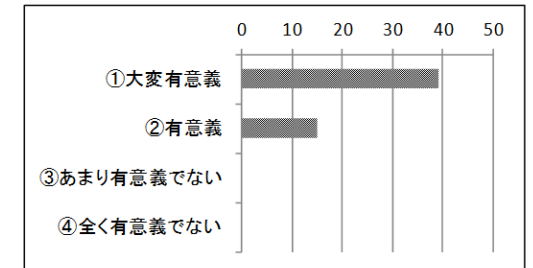
(1) 大学訪問に参加した総合的な満足度はどうでしたか。

	回答数	割合
①大変満足	45	83%
②満足	9	17%
③不満	0	0%
④大変不満	0	0%



(2) 大学訪問で見学した内容は有意義なものでしたか。

	回答数	割合
①大変有意義	39	72%
②有意義	15	28%
③あまり有意義でない	0	0%
④全く有意義でない	0	0%



(3) 大学訪問に参加したことで自己の進路意識に影響はありましたか。

	回答数	割合
①かなりあった	26	48%
②あった	28	52%
③なかった	0	0%
④まったくなかった	0	0%

